

※日当たりの良い庭を利用



【用意するもの】

- ・大型のシャベル（スコップ）
- ・鍬
- ・ロープ
- ・杭
- ・米ぬか＋油かす（1：1で混ぜたものを準備）

※米ぬかと油かすは、やせている土地

（肥料っ気が無く、状態があまり良くない土地）に少し撒く。

元々から畑だった土地などには撒かなくてもよい。

①日当たり・水はけ・動線を考慮し、畝と溝の位置を決めてロープを張る。

畝は約90～120cm、溝は約30cm幅にする。ロープを張った後、溝を掘る前に土地全体がうっすらと白くなる程度に米ぬかと油かすを混ぜたものを撒いておく。



↑ロープ張りの作業風景



↑米ぬかと油かすを混ぜたものを撒いています

※日当たり…日中、畑全体にまんべんなく陽があたるよう南北に立てる。

※水はけ……畑全体を見渡して土地の高い部分と低い部分を見極め、一番低い所（排水場所・側溝など）へ水が流れるように溝を掘る。

※その他……家庭菜園の場合は畝を広めにとり、溝は少なめにする。（畝を狭くすると溝部分が増え、無駄なスペースが多くなる）草が生えている場合は、先に草を剥いておく。（剥いだ草は後に使用するのとっておく）

Q. なぜ畝を立てる？

多くの作物は湿気を嫌うので畑の水はけを良くするために畝を立て、溝を掘る。

Q. 溝はなぜ30cm幅？

溝は後々作業の際の通り道となるため、程良い幅が必要。

幅が広すぎるとせっかくの畝部分が狭くなる。

また、徐々に畝の土が落ちてきて溝の幅が狭くなっていくので、初めから細くし過ぎないように30cm前後がよい。

